

第3回 高岡市教育将来構想検討会議

- ・日 時 平成30年9月3日 10:00～11:00
- ・場 所 ウイングウイング高岡 502 研修室

教育長：2学期のはじめというのは子供たちにとってストレスのかかる時期でもある。学校教育においていろいろな課題を抱えている中であるが、高岡の教育を充実していきたいと考えており、4月から皆様の意見を賜ってきたところである。

五位中学校区3小学校の統合について、いただいた答申を総合教育会議で市長と話し合う場があった。提言いただいた方向について、市長からもその方向で行こうという事になったので、ご報告申し上げます。その会議を踏まえ、3小学校区の住民の皆様には説明しているところである。今後も、丁寧な説明と皆様の意見を賜りながら、統合に向けて着実に進めていきたい。状況については今後の会議で報告させていただく。

今年は大変な猛暑であり、普通教室へのエアコンの設置が全国的にも求められている。国から補正予算又は新年度予算で整備していくという方向性が出てくると伝え聞いている。具体的にどうなるかは今後の動向次第であるが、教育委員会としては機会を逃す事なく、整備を進めていきたい。

本日は前回の小委員会で環境整備についてお話いただいた事を資料として準備したので、エアコン等の整備について忌憚のないご意見を賜りたい。その他、幅広くご意見を賜りたい。

再編については10月後半から11月にかけて大きな方向性を固めていただき、市民の皆様からさらにご意見を賜りたいと考えている。

事務局：学校施設における教育環境について説明(資料1、資料2)。

事務局：室温調査結果について、経験則的に一番気温が高いと考えられる14時前後の室温を測定している。

会 長：もっとも気温が高い階とは何階か。

事務局：基本的には一番高い階。学校によっては違う場合もある。3階または4階である。

委 員：古府小学校は周りに木が多く、窓を開けると虫が入る。網戸を設置する考えはないのか。

委 員：学校の窓は網戸をつけられる仕様になっていない。

委 員：特別教室にエアコンを入れたということだが、今後も導入を進めていくのか。これですべてなのか。

教育長：目安として100人に1台1部屋という目標をたてている。各学校の在籍人数と設置済み台数、設置済みの部屋を算出し、平準化を図る事を目的としている。予算には限りがある。今後については、国が普通教室への設置に向けて動いている。また、

富山市も普通教室へのエアコン導入に明確な方針を出したので、我々も機会を逃さずに進めたい。次は普通教室をどのように対応していくかが直近の課題と認識している。普通教室については全ての教室に設置を目指すという考え方である。

委員：国の補助とは。

教育長：国の補助は1/3である。現在の仕組みではリースは補助対象とはならない。国には全国から要望が出ている状況である。額等は定まっていないので、様子を見ていかなければならない。

委員：ランニングコストの問題として、ガスまたは電気等の検討が必要と考える。

1階は窓を閉め切っていて、2階、3階は窓を開けたままにするのか。窓の開け閉めによってランニングコストは大きく変わってくると考える。

委員：現状として1階の窓は開けている。その上で扇風機を使用したりもしている。

教育長：参考まで、市役所にも網戸はない。子供たちは昼間から暑い環境で過ごしている。市役所も17時以降はエアコンが止まり、窓を開けて仕事をするので虫が入る状況である。学校も網戸の手当はないので、小泉委員の意見のとおりである。エアコンが設置されれば、熱さと虫の問題が同時に解決する。

事務局：公共施設全体を見た時に、電気が大多数という感じだが、ガスを採用している事例もある。学校への導入を進める場合は、方式についても基礎調査が必要と考えている。

教育長：ランニングコストについてはこれからであるが、他市では、想定よりもランニングコストが低くおさまったと聞いている。効率の良い機器が出てきており、今後、試算をしながら、教育委員会として導入に向けた準備をしていきたい。

会長：国の補助制度には、電気でないとかダメだとか、ガスでないとかダメといった縛りはあるのか。

事務局：方式による縛りはない。文科省の補助制度とは、環境整備に関する空調全体に対するものである。

委員：特別教室へのエアコン導入について、大変ありがたく思っている。エアコンの部屋を活用した授業や、扇風機の導入についても大変感謝している。地元で寄付や篤志等を集めてエアコンを入れたいといった声が上がっているが、教育委員会としてどう考えるか。

エアコン導入のイニシャルコスト、ランニングコストはいくらを想定しているのか。高岡市のエアコン導入スケジュールが見えれば保護者も安心する。統合の問題もあるので、例えば統合してからエアコンを導入するということであれば、その方針が見えた方が良いと思う。

エアコン設置が遅れる場合は、服装の緩和等の対応をお願いしたい。

教育長：寄付や篤志を使つてのエアコン導入については、負担額が大きくなるため市でエアコン導入を進めさせていただきたい。高校では、エアコンの整備費、維持管理費を

保護者が負担するケースもあるが、高校毎に異なるのが現状である。小、中学校は義務教育であるため、どの生徒もよりよい環境で教育を受けられるよう努力していく。

国の方針についてははっきりした事はわからない。国の補助については全国の市町村が手を上げており、どれだけ富山県に配分されるか、また高岡市に配分されるかは今後の動きによる。市教育委員会としては市で予算を確保できるようにお願いしていきたい。

統合してからエアコンをつけるとなると、統合のスピードに大きく左右されてしまうので、どの学校も条件が同じになるように進めていきたい。機器を再利用する等、効率的な財源の活用を図っていきたい。富山市においても相当額の予算措置を決断したわけであるが、補助がつかない場合、来年度全てが設置されるわけではないと聞いており、時間差が出てくる。その中で、運用で様々な対応をとっていききたいと考えており、夏休み期間の設定についても配慮したいと思っている。

金額は、過去の試算では、約 12 億円としている。今後、予算の見込みを固めていく事になる。

委員：現状では 12 億円のうち 4 億円が補助で 8 億円が自治体負担という事でよいのか。

事務局：12 億円の 1/3 ではなく、補助単価が文科省で定められており、かなり低くなると考える。

教育長：1 校当たりの下限額が 400 万円であり、400 万円以上の工事でないと、補助事業に該当しないというのが従来の基準である。その中でも何が補助対象になるかは細かく査定されるため、1/3 といったものの、額面どおりにはならない。かなり削られてしまう。補助対象になる部分が限定されてしまう。ランニングコストは自治体負担である。

委員：冷房から冷暖房のタイプに今後変わる事はあるのか。

委員：冷気だけのエアコンは無く、冷暖のエアコンである。ボイラーをやめて冷暖エアコンで対応するケースと、ボイラーを併用したケースを比較したところ、ボイラーの性能にもよるが、ボイラーをやめて冷暖エアコンを利用した方が、格段にランニングコストが下がる。

公共施設であることを加味しても、導入コストは検討の余地があると考えます。先生方の業務環境の改善も大切であると考えます。先生方のためにも早急なエアコン導入が望まれる。エアコンの付替えについては、コストはそれほど安くならない。付け替えたものの耐用年数や性能がわからないので、施工業者は非常に嫌がる。さらに責任の所在が不明瞭となる。よって付替えは望ましくないと考えます。また、電力会社の提案も聞きながらコストの削減を行っていく必要がある。

会長：始業時に同時にエアコンをつけると、消費電力が一気に上昇する。オン、オフを繰り返すのも良くないようだ。むしろつけたままの方が良い事もあるようだ。

委員：夜間照明の例で、市の仕様に準じると高額となるため、民間企業に設置してもらい、それに対して市が助成するといった手法があると聞いた。12 億円はあくまでも公共の決まった単価ではないのか。

教育長：12 億円についてはあくまでも試算である。この夏に導入したエアコンについても、最大限努力をし、コストについては一定割合下げて導入している。12 億円は現段階の試算での数字であるため、下がると考えている。今後調査し、精査していく中で、例えば 10 億円になるといった経過は、確実にあると考えている。

委員：先ほど、寄付等を受け付けられないといった話があったので、民間から市の実情や身の丈にあったものを提案してもらい、それに対して行政が支払うという手法もあるのではないか。

教育長：例えば、クラウドファンディング等の手法で皆様の支援を仰ぐ事もある。その際特定の学校に配置するといったことになってしまうと良くない。すべての学校に行きわたるような形で皆様から応援していただけると助かる。特定の学校となると、他の学校と不公平感が生まれるので、教育委員会として説明できない。

会長：ふるさと納税を活用するといった事はできないか。

事務局：ふるさと納税のメニューについては、高岡市の考え次第であるため、メニューに加える事は可能と考える。しかしながら、ふるさと納税が集まったからと言ってそのすべてがエアコン設置に使われるわけではない、ふるさと納税でエアコンに係る費用全てをまかなう事も難しいと考える。メニューを作るとしても、まずは高岡市の方針があってからだと考える。

委員：実際に寄付を集めて高岡市にもっていきたいと言っている学校もある。ふるさと納税のメニューがあれば、出しやすいと思うので検討いただきたい。

会長：全体のまとめとして、室温調査を受けて 29℃、30℃を超えているので、特別教室だけではなく、普通教室にもエアコンを設置する事が強く望まれるという事が 1 点目。他市町村でも普通教室へのエアコン設置の動きが出ており、PTA サイドからも、お金を出してでも設置して欲しいという要望が出ており、高岡市は早急な対応をして欲しいというのが 2 点目。エアコン導入には多額の費用がかかるので、国の補助制度の活用も含めて、財源確保のためのさまざまな工夫をして欲しい、さらには導入の経費についても低額なものに抑える。これら財源の問題が 3 点目。4 点目、普通教室への一括導入については年次計画が必要であるため、段階的に、あるいは不公平感がないように、計画的に、工程が見える形で設置をすすめていただきたい。いろいろな工夫で暑さ対策は出来るのではないかという点については、夏休み期間を柔軟に設定する事や、軽装での授業等、柔軟な工夫が必要という事。今日の協議事項については事務局で、市長に上げていただきたい。その前に委員の皆様にご確認いただくという手順でよろしいか。

全委員：異議なし。

委員：空調服の体験をした。屋外でも熱さを感じないくらいであった。屋内、屋外に関わらず利用できるのも良いと感じた。機会があれば検討していただきたい。

以上